

福島市内事業者の皆様へ

未曾有の東日本大震災・原発事故から丸9年。昨年は台風19号災害にも見舞われましたが、この間、福島市は、市民一丸となって不屈の精神で復興を進めてきました。

今年は、朝ドラ『エール』の放映と、東京2020大会（福島市で野球・ソフトボール）の開催という千載一遇のチャンスに恵まれ、これを生かして、復興の先へと推し進め、これからは私たちが「世界にエールを送るまち」になろうと、大いに盛り上がってきておりました。

ところが、新型コロナウイルスで状況が一変。春のハイライト花見山観光の受入れは中止せざるをえなくなり、朝ドラ目当ての観光団体は4月全てキャンセル。東京2020大会の開催も延期となり、出鼻を挫かれた状況になってしまいました。

そのような中、私は、決意しました。「ピンチをチャンスに変えよう!!」と。

新型コロナウイルスのダメージに対し、官民ともに必死に対応していかなければなりません。逆転の発想で、このような時でなければできないことをやって、一段とパワーアップすれば、災難が明けた後のチャンスをより大きなものにすることができるはずです。

そのような折り、景況悪化でフリーランスの方々の仕事が急減しているニュースを知りました。

普段は、地方にお越しいただけないような多忙で優秀なフリーランスの方々に、話題の朝ドラ『エール』で来訪されるたくさんのお客様をおもてなしする商品・サービスの開発・改良にご協力いただく仕組みを福島市観光コンベンション協会と共同でつくりました。商品やサービスの開発や改良を希望する事業者の皆様、優秀なフリーランスを派遣して、完成まで導いていただきます。

市内事業者の皆様、ピンチをチャンスに変え、福島市が「世界にエールを送るまち」へと変貌を遂げるため、これからもチャレンジ精神旺盛に、お客様お迎えの準備を加速させて参りましょう。

この機に、更に多くの事業者の皆様からのプロジェクトへのご参加を心からお待ちしております。

令和2年3月26日

福島市長 木幡 浩

木幡 浩